

1976
2013
6/1

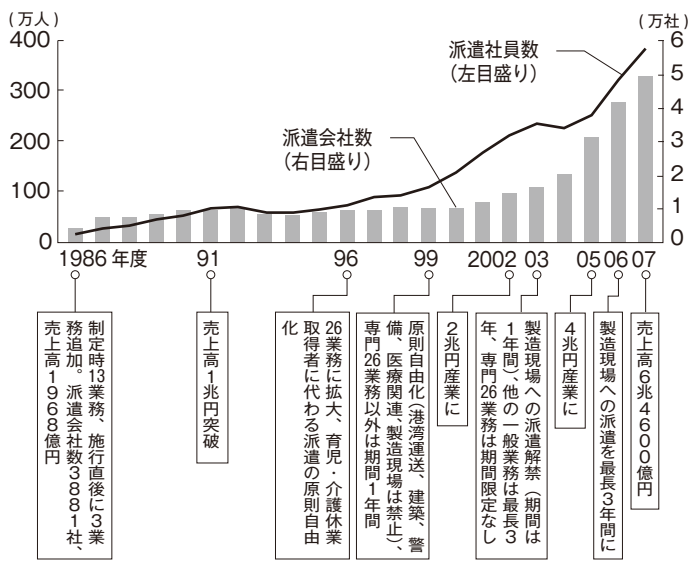
府職の友

発行所/大阪府関係職員労働組合
〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-59
電話 06(6941)0351・内線3740
直通06(6941)3079 FAX06(6941)4541
Eメール info@fusyokuro.gr.jp
URL/http://www.fusyokuro.gr.jp
発行人/橋本 紀塩 編集人/田中 克義
(一部10円)組合員の購読料は組合費に含まれています。

公衛研の独法化許さず
充実を求める集会

6月27日(木) 19:00~
エルおおさか

図1 労働者派遣法制定以来の推移



一部の企業での賃上げも報道されていますが、全体の流れにはなっておらず、「賃金水準の引上げ」にはほど遠い状況です。安倍首相は、国会での追及も受けて、財界に賃上げ

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

多くの労働者に波及しませんが、年金など、社会保障にも大きく影響します。最賃の引上げ額は毎年、厚労省の審議会で決定されます。政府が本気になれば、すくなくとも大幅賃上げが可能で、決められた最賃は、どこでも誰でも守らなければならぬわけですから、企業にとっても「不公平」はありません。この3年間で最賃が1.5倍になったアメリカでは、「地域経済が活性化し、企業利益につながる」と財界・大企業も歓迎の声明を出しています。

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

押し寄せる値上げの波

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

アベノミクスでくらしは良くなるのか

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

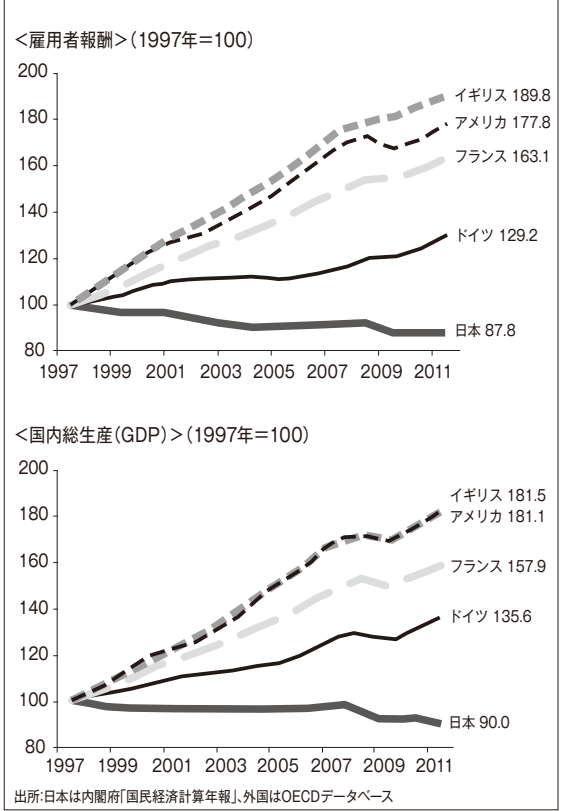
「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

「労働者は「派遣」ではなく「正規」に

賃金カットの中止、賃金の底上げを実現しよう！ 労働者いじめの政治から労働者を守る政治へ

図2 各国の雇用者報酬と国内総生産の推移



「アベノミクスで景気が良くなる」という幻想が振りまかれていますが、相次ぐ値上げのあとに、消費税の増税や社会保障の大改悪も狙われており、国民の生活がますます苦しくなるのは目に見えています。財界・大企業やごく一部の富裕層ではなく、中小企業や国民・労働者のくらしに光をあてるこそ、真の景気回復、日本経済再生の道です。図2でも明らかのように、賃上げが経済成長につながることは、世界の常識となっています。今こそ、政治の力が問われているのではないのでしょうか。

社会保障の改悪、消費税増税に怒る大阪府民集会

とき 6月8日(土)14:00~16:30 開場13:30
場所 クレオ大阪中央
(地下鉄谷町線「四天王寺前」駅下車1番出口、北東へ徒歩3分)

第1部●講演
「憲法25条のはたしてきた役割を検証し、自民党の改正案を斬る」
伊藤 周平さん(鹿児島大学大学院教授)

第2部●スピーチ
社会保障制度改革推進法は何を狙い、私たちはどう運動していくのか
主催 社会保障制度改革推進法廃止を求める大阪実行委員会
連絡先 大阪社会保障推進協議会 ☎06-6354-8662

遊歩道

弁護士の中坊公平氏の訃報が新聞に載っていた。中坊氏は「豊田商事事件」や瀬戸内海の豊島「産業廃棄物不法投棄事件」など、被害者や住民の立場に立って救済にあたったことから「平成の鬼平」と呼ばれた。中坊氏の弁護士活動の「原点」は「森永ヒ素ミルク中毒事件」にあったという。ヒ素ミルクの被害者に弁護を頼まれたとき、彼は被害者の家を一軒一軒訪ね、被害児をその目でみて、親の悲痛な叫び(森永乳業を責める)ではなく、ミルクを飲ませた自分を責める親の姿)に弁護を判断、保障金ではなく親亡き後の子どもへの恒久保障を勝ち取られた。被害者の実態や声を聴くことで、問題の本質を把握して弁護をするという姿勢の原点だったといえる。同じ弁護士を職業にしていた橋下市長の昨今の発言。従軍慰安婦の方より直接話も聞かず、沖縄県民の声に耳を傾けず、風俗業で働いている人の実態を調べず、自分の考えだけの発言でどれだけの人を傷つけているか。批判を受けてもなお、なぜこんな批判されるのかわかっていない様子に、市長の人權感覚の欠如を感じるのは私だけではないだろう。(M)